

経営比較分析表（平成28年度決算）

佐賀県 武雄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	84.25	99.05	4,568	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
49,674	195.40	254.22
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
48,962	195.44	250.52

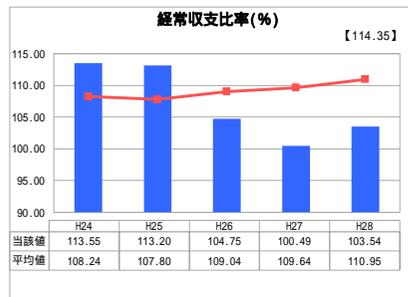
グラフ凡例

■ 当該団体値 (当該値)

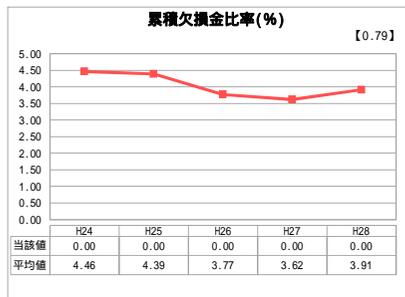
● 類似団体平均値 (平均値)

【】 平成28年度全国平均

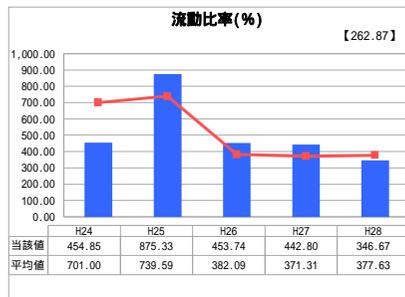
1. 経営の健全性・効率性



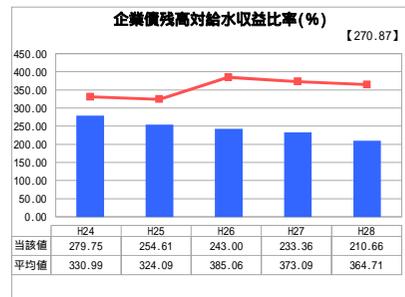
「経常損益」



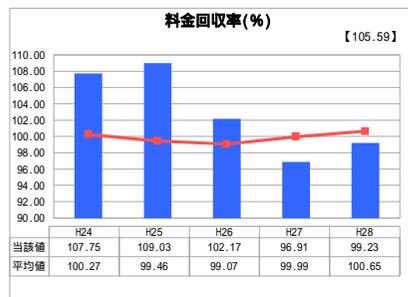
「累積欠損」



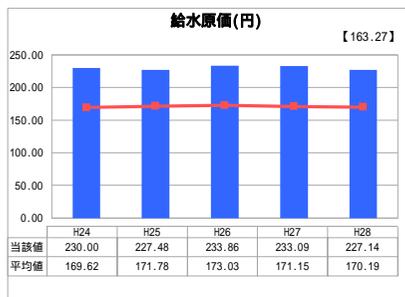
「支払能力」



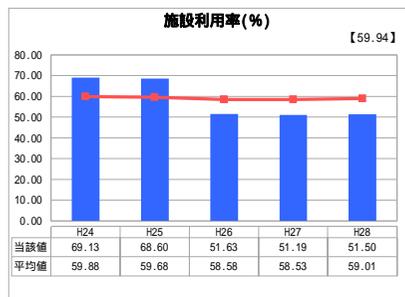
「債務残高」



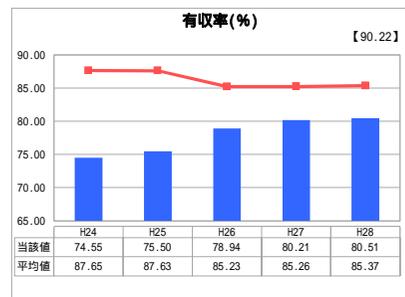
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

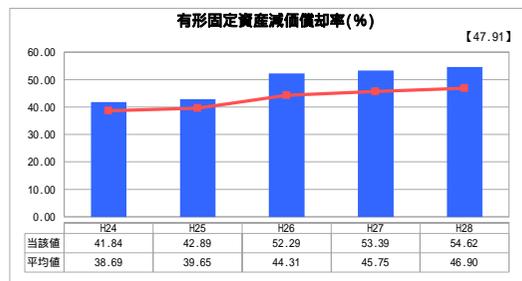


「施設の効率性」

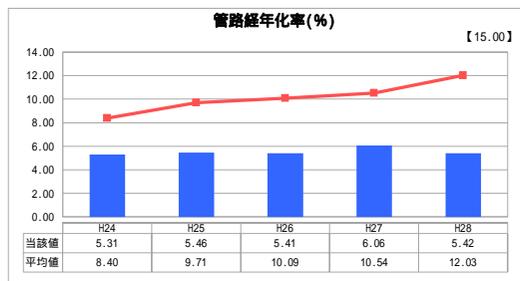


「供給した配水量の効率性」

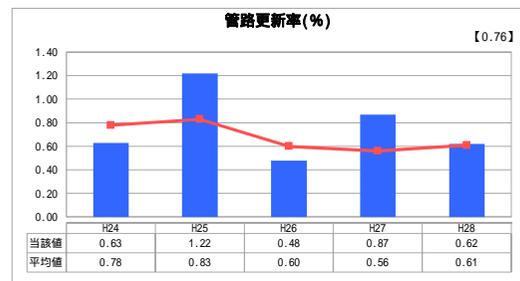
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率が100%以上で推移し、また流動比率も高水準で推移していることから、経営の健全性は確保できていると判断できる。

一方、給水原価は類似団体と比較し高水準で推移し、また平成26年10月の料金減額改定の影響により供給単価が低減しており、料金回収率は平成27年度に引き続き100%を下回っている。

未収金対策も含めた料金収入確保や、有利な資材調達・計画的な建設投資による経費節減に努め、経営安定を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率について平均値と同程度で推移しており、類似団体と同水準で施設の老朽化が進んでいることが判断できる。

老朽管更新・漏水調査を継続して実施しているが、引き続き計画的な管路更新や有収率の向上に努める。

全体総括

経営は概ね安定しているが、給水人口の減少、施設の老朽化等経営環境が厳しくなることが見込まれる中、サービス維持のため計画的・効率的な経営が求められる。

市民負担の軽減も考慮しながら、経営努力を行うとともに施設の統廃合や広域事業統合を進める。